

台風や集中豪雨への備えをしっかりと！

毎年、台風・大雨による洪水や土砂災害が全国各地で発生しており、特に最近では、集中豪雨による被害が多発しています。出水期を迎えるにあたり、私たちの家のまわりの危険個所や避難経路の確認、非常持出品の準備などを行い、万が一の災害に備えましょう。

土砂災害の種類と前兆現象

土砂災害には、土石流、がけ崩れ、地滑りがあります。特に次のような前兆現象に十分注意しましょう。

土石流



がけ崩れ



地滑り



土石流の速度は時速30～40kmもあるので、発生してから避難しても間に合いません。早目に行動しましょう。



あらかじめ防災マップで自宅周辺の危険個所や、避難所などを確認しておきましょう。市のホームページにも防災マップを掲載しています。

ホームページのアドレス

<http://www.city.matsuyama.ehime.jp/kurashi/bosai/bousai/keihatu/bousaimap.html>

避難のポイント

1時間あたりの降雨量が20mm、または連続雨量100mmが注意の目安！

その1

がけのそばにいる場合は、がけの高さの2倍の距離の所まで離れましょう。土石流の場合は、流れから直角方向に向かって、高い所に逃げましょう。

その2

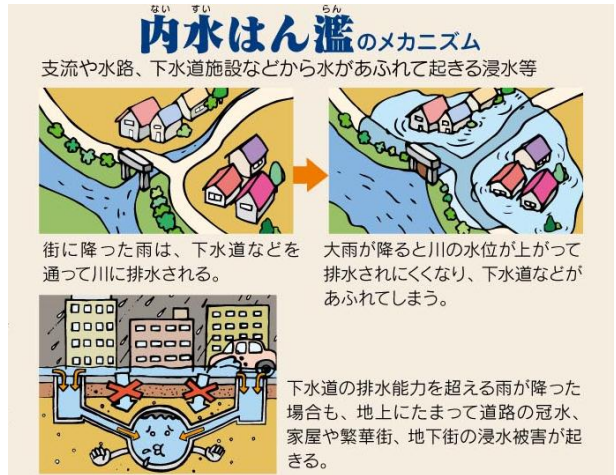
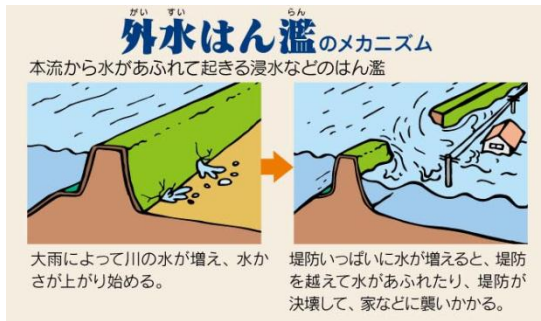
土砂災害の犠牲者の半数以上は、お年寄りなどの災害時要援護者。災害時要援護者は、避難所までの移動に時間がかかるので早めに行動しましょう。

その3

「土砂災害警戒情報」が発表された場合は、土砂災害の危険性が高まっている状態なので、気象情報などに注意。市からの「避難準備情報」が発令される前でも、身の危険を感じた時は自主的に避難しましょう。

洪水の危険にも注意

洪水は、大きな河川から水があふれたり、堤防決壊によって引き起こされる「外水はん濫」と、街中の排水が間に合わず側溝からあふれ出す「内水はん濫」の2タイプがあります。



市から発令される情報等



避難準備情報・避難勧告・避難指示について

台風や集中豪雨、津波発生時など、災害の発生するおそれが高まった時や、災害発生後の二次災害による被害を防止するために、松山市では避難勧告などを発令し、市民の皆さんへ伝達します。下記の情報が伝達されたら、安全な避難所や知人宅などへ避難しましょう。

	発令時の状況	市民に求める行動
避難準備情報	<ul style="list-style-type: none"> 災害時要援護者など特に避難行動に時間を要する人が避難行動を開始しなければならない段階。人的被害の発生する可能性が高まった状況。 	<ul style="list-style-type: none"> 災害時要援護者など特に避難行動に時間を要する人は、避難行動を開始(避難支援者は支援行動を開始)。 上記以外の方は、家族との連絡、非常持出品の用意、避難準備などを開始。
避難勧告	<ul style="list-style-type: none"> 通常の避難行動ができる人が避難行動を開始しなければならない段階。人的被害の発生する可能性がかなり高まった状況。 	<ul style="list-style-type: none"> 通常の避難行動ができる人は、避難行動を開始。
避難指示	<ul style="list-style-type: none"> 前兆現象の発生や、現在の切迫した状況から、人的被害の発生する危険性が非常に高いと判断された状況 堤防の隣接地や地域の特性などから人的被害の発生する危険性が非常に高い状況。 人的被害の発生した状況。 	<ul style="list-style-type: none"> 避難勧告などの発令後で避難中の人は、避難行動をすぐに完了。 まだ避難していない人は、すぐ避難行動に移る。その時間のない場合は生命を守る最低限の行動をする。

- ※ 日頃から危険な場所や身近にある崖などを把握しておきましょう。
- ※ 避難場所や避難経路などは、事前に確認しておきましょう。
- ※ 台風や大雨時には、防災気象情報の入手に努めましょう。
- ※ 家族でいざという時、あわてず行動できるよう話し合いをしておきましょう。

